

## 4/26 「総会と春季研究例会」



令和7年度の総会と春季研究例会を開催しました。総会では、来賓である入善町教育長の小川晋氏からご祝辞を賜り、昨年度の事業報告、決算・監査報告及び今年度の行事や予算を承認していただきました。

また、各研究部会の今年度の活動や来年度に実施を予定している創立50周年記念事業の概略についての説明もありました。会員一同力を合わせてますます活発な活動を展開することで、来年度の創立50周年につなげていきたいものです。

町内には、5月の連休中に研究所の事業案内と行事への参加申し込み用紙のチラシを配布しました。一人でも多くの研究員や町民、県民の皆様に参加していただき、本会の活動を盛り上げていただきたいと思います。

## 講演 ハーバード大学デザイン大学院（GSD） 黒部スタジオを終えて

### YKK AP株式会社技術開発本部

#### 技術アドバイザー 八木 繁和 氏 講演

昨年度、米国ハーバード大学デザイン大学院(GSD)がYKKグループと協力し、黒部川扇状地を含む地域の調査研究を行った成果等を講演していただきました。

黒部スタジオでは、GSDの大学院生が100年先を見越して、黒部川流域で環境と景観に配慮した持続可能な開発を行うプロジェクトの調査研究を現地に足を運んで行いました。その研究成果をYKKの協力スタッフの皆さんに報告していただきました。この地域の特徴を生かした、斬新でユニークな発想のプロジェクトに感心させられました。



報告して下さったYKKグループの皆さん

8/23(土) 夏季研究例会 13:30～  
うるおい館イベントホール1

13:40～14:40 研究発表

「竹内文書から読み解く江戸期入膳宿の姿」

発表者：(一社)黒部川扇状地研究所

鍋谷 良和 所長

15:00～16:30 講演

演題：「黒部川と地球(ジオ)」

講師：日本黒部学会 会長 國香 正稔 氏

## 5/3 かがんぼしいの里で田植え体験

※「かがんぼしい」は、地元の方言で「まぶしい」の意味です。



どろんこだってヘッチャラ!

「環境にやさしい農業を体験しよう」の事業として水嶋前所長が30年余りにわたって農薬、化学肥料を使わないで米を栽培してきた今江の水田で田植え体験会を実施しました。森・能澤研究員の指導の下、小学生7名と保護者1名が参加し、素足でコシヒカリの苗を植えました。今後の成長が楽しみです。



ころがしを前にはいポーズ

## 5/23 扇状地探訪ウォーク① ～扇状地右岸コース～

第1回は、19名が参加し、黒部川河口公園に集合し、黒部川内水面漁業協同組合、富山県花卉球根農業協同組合、庄助川、五郎八・高島地区の湧水地を歩いて巡りました。



黒部川内水面漁業協同組合では、事業内容の説明を聞き、アユやサクラマス(ヤマメ)を育てている様子を見学させていただきました。



五郎八公民館前の掘り抜き井戸です。冷たくておいしい湧水でのどを潤すことができました。

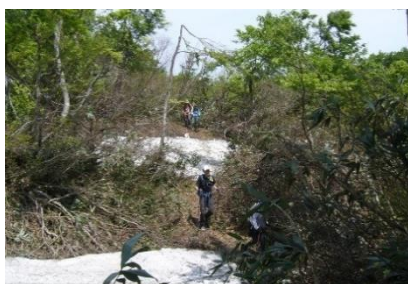


板屋地区の湧水を水源とする庄助川の様子を見学しました。トミヨやホタルなどの貴重な生き物が生息しています。



県花卉球根農業協同組合では、県や町のチューリップ栽培の歴史や現状についての説明を聞き、施設を見学しました。町のチューリップ栽培農家が、現在6軒になっていることは驚きでした。

## 6/7 扇状地眺望登山① (烏帽子山)



残雪の山道を進みました。

昨年度から扇状地眺望登山として春は烏帽子山、秋は負釣山に登っています。天候不良のため1週間延期して実施し、14名の参加がありました。2月の積雪が多かったせいか、山頂近くは残雪が多く、雪を踏みしめながらの登山になりました。気温の高い日でしたが山道は涼しく、眺望を楽しみながらさわやかな登山ができました。



烏帽子山頂上にて集合写真